



## 2021年4月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年3月12日

上場会社名 日東製網株式会社

上場取引所 東名

コード番号 3524 URL <http://www.nittoseimo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 宏明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部本部長 (氏名) 北方 浩樹

TEL 084-953-1234

四半期報告書提出予定日 2021年3月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年4月期第3四半期の連結業績(2020年5月1日～2021年1月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年4月期第3四半期	12,273	3.2	408	63.8	475	159.1	178	345.9
2020年4月期第3四半期	12,683	1.8	249	40.7	183	29.5	39	66.0

(注) 包括利益 2021年4月期第3四半期 107百万円 ( %) 2020年4月期第3四半期 16百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年4月期第3四半期	68.68	
2020年4月期第3四半期	15.41	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年4月期第3四半期	22,997	6,037	25.6	2,269.04
2020年4月期	21,011	6,060	28.2	2,281.08

(参考) 自己資本 2021年4月期第3四半期 5,884百万円 2020年4月期 5,915百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年4月期		0.00		50.00	50.00
2021年4月期		0.00			
2021年4月期(予想)				50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年4月期の連結業績予想(2020年5月1日～2021年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,200	4.6	850	13.6	840	26.0	550	94.7	212.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年4月期3Q	2,605,000 株	2020年4月期	2,605,000 株
期末自己株式数	2021年4月期3Q	11,576 株	2020年4月期	11,576 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年4月期3Q	2,593,424 株	2020年4月期3Q	2,592,313 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ペ - ジ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、経済活動が大きく制限されておりましたが、一部では改善の兆しもでてまいりました。しかし、年明けに再び緊急事態宣言が発令され、先行きが不透明な状況となり、海外でも一部の地域を除き、景気は厳しい状況が継続しております。

当社グループ主力ユーザーの水産業界におきましては、海洋環境や気象状況の変動による漁獲量の減少や外出自粛の影響で外食産業向けの高級魚・水産物などの需要が減少していることに加え、漁船漁業者の一部は海外への出航ができない状況が続いており、漁業従事者の経営環境は引き続き厳しい状況となっております。

このような状況のもと、当社グループの売上高は、漁業関連事業では、本来前期に納品予定であった繰越分が計上されたことや新リース事業等の手続きが順調に進んだ定置網部門は堅調でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、水産部門や養殖網部門の売上高が大きく減少しました。陸上関連事業では、新型コロナウイルス対策で室内換気の必要性から防虫網部門が伸び、獣害防止ネットや落石防止ネット等の災害対策用途の陸上用のネットの販売が好調であったものの、全体としては前年同期と比べて減少しました。営業利益は、売上高が伸び悩む中でも、主力の定置網部門の売上高が好調であったことと、計画的な生産を継続したことで製造原価を抑えることができたこと等により、前年同期と比べて増加しました。

また、営業外収益では受取保険金等の計上があり、営業外費用で持分法による投資損失等の計上がありましたが、営業外損益はプラスとなりました。新事業所建設にあたり、特別損失として解体撤去費用を計上しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は12,273百万円（前年同期比3.2%減）、営業利益は408百万円（前年同期比63.8%増）、経常利益は475百万円（前年同期比159.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は178百万円（前年同期比345.9%増）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

#### [漁業関連事業]

売上高は9,832百万円（前年同期比4.8%減）となりました。主な要因は、今夏は台風の発生も少なく、主力の定置網部門の売上高は堅調に推移しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で外食産業向けの高級魚の需要が減少したことなどから水産部門、養殖網部門の売上高が減少しました。利益面は、漁業関連事業全体として売上高は減少しましたが、主力の定置網部門の売上高が好調だったことで、他の部門の落ち込みをカバーでき、セグメント利益は398百万円（前年同期比127.2%増）となりました。

#### [陸上関連事業]

売上高は2,429百万円（前年同期比3.5%増）となりました。主な要因は、施工工事部門の売上高は低調でしたが、防虫網や獣害防止ネットの受注が好調で売上高は増加しました。利益面は、施工工事部門の売上高が減少したこと、防虫網部門の事業強化を図り人件費等のコストが増加したことでセグメント利益は10百万円（前年同期比85.6%減）となりました。

#### [その他]

前期に引き続き機械の部品加工等の受注は低調でしたが、小口商材が増加し、売上高12百万円（前年同期比330.7%増）となりました。利益面は、売上高の増加によりやや改善したもののセグメント損失は0百万円（前年同期は0百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,986百万円増加し、22,997百万円となりました。その主な内容は以下のとおりであります。

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末と比べ816百万円増加し、15,150百万円となりました。これは、売上債権は減少しましたが、たな卸資産が増加したこと等によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末と比べ1,170百万円増加し、7,847百万円となりました。これは、有形固定資産のその他の建設仮勘定が増加したこと等によるものです。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末と比べ2,397百万円増加し、13,022百万円となりました。これは、短期借入金が増加したこと等によるものです。

固定負債は、前連結会計年度末と比べ388百万円減少し、3,938百万円となりました。これは、長期借入金が増加したこと等によるものです。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ22百万円減少し、6,037百万円となりました。これは、利益剰余金は増加しましたが、為替換算調整勘定が減少したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点では、2020年6月10日に公表いたしました2021年4月期の連結業績予想に変更はありません。ただし、今後の経営環境を踏まえ、業績予想の修正が必要である場合は、適時に開示してまいります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年1月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	960,353	1,180,908
受取手形及び売掛金	7,022,686	6,487,086
商品及び製品	4,199,087	5,117,800
仕掛品	683,650	877,654
原材料及び貯蔵品	1,070,355	1,126,805
その他	434,868	379,071
貸倒引当金	△37,295	△19,286
流動資産合計	14,333,708	15,150,040
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,379,316	2,397,751
その他(純額)	2,566,517	3,971,968
有形固定資産合計	4,945,833	6,369,719
無形固定資産		
のれん	211,411	192,934
その他	49,170	42,293
無形固定資産合計	260,582	235,227
投資その他の資産		
長期営業債権	926,506	906,599
繰延税金資産	203,458	151,149
その他	1,009,401	860,512
貸倒引当金	△668,742	△675,523
投資その他の資産合計	1,470,624	1,242,737
固定資産合計	6,677,040	7,847,684
繰延資産	278	220
資産合計	21,011,027	22,997,945

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年1月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,183,637	2,155,814
電子記録債務	1,071,559	1,310,079
短期借入金	6,166,658	8,292,894
賞与引当金	244,933	104,723
その他	957,618	1,158,542
流動負債合計	10,624,406	13,022,053
固定負債		
長期借入金	3,412,485	3,026,536
長期末払金	25,769	19,614
役員退職慰労引当金	246,364	254,557
退職給付に係る負債	483,846	501,737
繰延税金負債	105,846	106,133
その他	52,204	29,756
固定負債合計	4,326,516	3,938,334
負債合計	14,950,922	16,960,388
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,378,825	1,378,825
資本剰余金	510,540	510,540
利益剰余金	4,241,411	4,289,860
自己株式	△18,062	△18,062
株主資本合計	6,112,714	6,161,163
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	38,913	57,740
為替換算調整勘定	△235,822	△334,318
その他の包括利益累計額合計	△196,908	△276,577
非支配株主持分	144,299	152,971
純資産合計	6,060,104	6,037,557
負債純資産合計	21,011,027	22,997,945

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年5月1日 至2020年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年5月1日 至2021年1月31日)
売上高	12,683,543	12,273,917
売上原価	10,226,981	9,606,766
売上総利益	2,456,561	2,667,151
販売費及び一般管理費	2,207,223	2,258,697
営業利益	249,338	408,453
営業外収益		
受取利息	15,597	14,280
受取配当金	8,497	9,252
固定資産賃貸料	25,721	22,089
為替差益	-	9,579
受取保険金	-	88,475
その他	43,016	52,973
営業外収益合計	92,833	196,649
営業外費用		
支払利息	45,748	40,732
手形売却損	9,465	7,702
保証債務費用	43,311	-
持分法による投資損失	16,830	55,135
為替差損	24,952	-
その他	18,503	26,457
営業外費用合計	158,811	130,028
経常利益	183,359	475,074
特別損失		
解体撤去費用	-	159,721
特別損失合計	-	159,721
税金等調整前四半期純利益	183,359	315,353
法人税、住民税及び事業税	90,017	83,725
法人税等調整額	50,146	44,840
法人税等合計	140,164	128,566
四半期純利益	43,195	186,787
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,250	8,666
親会社株主に帰属する四半期純利益	39,945	178,120

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年5月1日 至 2020年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年5月1日 至 2021年1月31日)
四半期純利益	43,195	186,787
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△17,622	18,832
為替換算調整勘定	△27,148	△79,185
持分法適用会社に対する持分相当額	△15,403	△19,310
その他の包括利益合計	△60,174	△79,663
四半期包括利益	△16,979	107,123
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△20,230	98,451
非支配株主に係る四半期包括利益	3,250	8,671

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年5月1日 至 2020年1月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計
	漁業関連事業	陸上関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,333,270	2,347,401	12,680,672	2,871	12,683,543
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	10,333,270	2,347,401	12,680,672	2,871	12,683,543
セグメント利益又は損失(△)	175,399	74,367	249,766	△427	249,338

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業用機械の製造・メンテナンス等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年5月1日 至 2021年1月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計
	漁業関連事業	陸上関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,832,325	2,429,223	12,261,548	12,368	12,273,917
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	9,832,325	2,429,223	12,261,548	12,368	12,273,917
セグメント利益又は損失(△)	398,421	10,683	409,104	△651	408,453

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業用機械の製造・メンテナンス等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## (重要な後発事象)

当社は、2021年3月12日開催の取締役会において、福山事業所建設にかかる資金の借入を行うことを決議し、2021年3月15日に株式会社広島銀行、株式会社北陸銀行をアレンジャーとしたシンジケートローン契約を締結するものです。

## 1. シンジケートローン契約締結の目的

新事業所の建設工事費、機械設備等の事業資金需要に充当することを目的として本契約を締結するものです。

## 2. シンジケートローン契約の内容

形式	コミットメント期間付タームローン
総借入限度額	7,400百万円
契約締結日	2021年3月15日(予定)
コミットメント期間	2021年3月18日から2023年12月末日
契約期限	2038年12月末日
借入金利	基準金利＋スプレッド
担保	福山事業所の土地・建物
アレンジャー	株式会社広島銀行、株式会社北陸銀行
エージェント	株式会社広島銀行
参加金融機関	株式会社広島銀行、株式会社北陸銀行、株式会社日本政策投資銀行

## 3. 財務制限条項

- (1) 2021年4月期以降、各年度の決算期末における連結の貸借対照表における純資産の部の金額を前年同期比75%以上に維持すること。
- (2) 2021年4月期以降、各年度の決算期における連結の損益計算書に示される経常損益が、2期連続して損失とならないようにすること。

## 4. 今後の見通し

本件が2021年4月期の通期業績予想に与える影響については、他の要因による影響も含めて現在精査中であり、見通しが確定次第、速やかに開示いたします。